

第15回ソーシャルマーケティング研究会 (ver.2.1) —ソーシャルマーケティング研究 week—

2025年2月25日(火)～3月1日(土)

場所：2月25日～2月28日 オンライン (zoom)

3月1日

ハイブリッド：同志社大学今出川校地 良心館 RY202 & オンライン (zoom)

主催：同志社大学 ソーシャルマーケティング研究センター、瓜生原葉子研究室

JSPS 科研費基盤研究 (B) JP23K22989「ウェルビーイングに資する行動変容促進モデルと幸福尺度を含む政策共創プロセスの構築」

厚生労働科学研究 22FF1001 (瓜生原班)「行動科学を基盤とした科学的根拠に基づく臓器・組織移植啓発モデルの構築に関する研究」

後援：同志社大学良心学研究センター、同志社大学ライフリスク研究センター

★ご視聴にはご登録が必要です→ <https://forms.gle/EXF6t8ree2yCfaB37>

※現地参加ご希望の方もこちらにご登録お願いいたします

ご登録はこちらから!



プログラム ※五十音順、敬称略、SMRC:ソーシャルマーケティング研究センター、時間変更などあり

2月25日(火)～2月28日(金) 18:30-20:00 @オンライン

Pathways to behavior change (ソーシャルマーケティングの全プロセスについての詳細報告)

座長：瓜生原葉子

- 2月25日(火) 報告①「医療のエコ活動の普及に関する研究」
報告②「環境のエコ活動と医療のエコ活動の親和性に関する探究」
- 2月26日(水) 報告③「地蔵を象徴とした態度変容に関する研究」
報告④「睡眠の質を高める行動促進に関する研究」
- 2月27日(木) 報告⑤「京都におけるオーバーツーリズムの影響因子に関する研究」
報告⑥「骨髄バンク登録の促進に関する研究」
- 2月28日(金) 報告⑦「『臓器提供迷ってますカード』を用いた臓器提供意思表示行動の促進」
報告⑧「家族との価値観共有と家族の意思決定に関する研究」

3月1日(土) 13:00-17:30 @同志社大学今出川校地 良心館 RY202/オンラインのハイブリッド

座長：瓜生原葉子

13:00-14:40 Symposium1 『地域における共創と市民へのインパクト』

2024年11月開催の「超ECO祭」の活動を事例に、地域社会における共創パートナーシップの形成が、市民の行動変容や well-being どのように寄与するのかについて学術的・実践的に討議します。

- ◇ 動画『超ECO祭2024』上映
- ◇ 全体アンケート分析結果など
- ◇ 各ブースにおける研究結果報告
 - ・ナイトシフトミッション (睡眠の質向上)
 - ・Be the match (骨髄バンク登録の促進)
 - ・迷いの森 (臓器提供意思表示の促進)
 - ・我が家のバケツリスト (価値観共有の促進)
 - ・繋ごうエコの輪 (環境と医療のエコの親和性探究)
- ◇ 総合討論「共創の意義、改善点、発展のためのポイント」

14:40-15:00 休憩

15:00-16:15 Symposium2 『自治体における行動変容施策の実装事例の促進』

自治体において行動変容施策を実装するためにソーシャルマーケティングを活用した事例を基に、その立案プロセス、実践における利点や成果、さらに直面した課題について討議します。

- ◇ 横浜市における取組 荒川 裕貴 (横浜市立大学/SMRC)
- ◇ 広島県における取組 杉山 亮一 (広島県/SMRC)
- ◇ 総合討論

16:15-16:30 休憩

16:30-17:30 『ソーシャルマーケティング再考』

ソーシャルマーケティング研究センター4年目の活動報告とともに、国際ソーシャルマーケティング協会の新基準を含めた新しい展開について報告・討議します。

招聘コメンテーター・パネリスト（五十音順・敬称略）

秋山 美紀（慶應義塾大学環境情報学部 教授、健康マネジメント研究科 教授）
大友 康博（株式会社新産業文化創出研究所 主任研究員）
大西 峻介（株式会社 BCLabo）
岡部 格明（同志社大学文化情報学部 日本学術振興会特別研究員(PD)）
金丸 徳敬（アステラス製薬株式会社アドボカシー部）
鎌田 真光（東京大学大学院医学系研究科 講師）
立山由紀子（京都大学大学院医学研究科 特定講師）
田代 哲也（広島県施策形成支援チーム施策形成支援担当）
中澤 敦子（同志社大学保健センター 産業医）
並河 進（dentsu Japan グロースオフィサー エグゼクティブ・クリエイティブディレクター）
野口 範子（同志社大学生命医科学部 教授）
服部 篤子（同志社大学政策学部 客員教授）
松下登志朗（株式会社ソマノベース）
三澤 和樹（京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) 国際広報室）
山本小奈実（山口大学大学院医学系研究科 講師）

社会実装共創者（五十音順・敬称略）

アステラス製薬株式会社、イオンモール KYOTO、Innovation for NEW HOPE、一般社団法人PHR 普及推進協議会、NPO 法人献血と骨髄バンクの和を広げる会、株式会社島津製作所、株式会社ソマノベース、株式会社予防医療製作所、京エコロジーセンター、京都市、京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA)、京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻、公益財団法人日本 AED 財団、同志社大学サイエンスコミュニケーター養成専攻、同志社ミツバチラボ、ヘルシーキャンパス京都ネットワーク、明治安田生命保険相互会社、WAKAZO
後援：京都府、京都市、京都新聞、KBS 京都

ソーシャルマーケティング研究センター研究者（敬称略）

荒川 裕貴（横浜市立大学医学部公衆衛生学教室助教）
遠藤 華英（同志社大学スポーツ健康科学部助教）
大久保雅史（同志社大学理工学部情報システムデザイン学科教授）
岡田 彩（東北大学大学院情報科学研究科教授）
上林 憲雄（神戸大学大学院経営学研究科教授）
小柴 巖和（同志社大学ソーシャルマーケティング研究センター研究員）
杉山 亮一（広島県総務局局長）
玉田 寛（ヘルスケアリーダーシップ研究会理事長）
遅 力裕（龍谷大学短期大学部社会福祉学科講師）
中山 健夫（京都大学大学院医学研究科教授）
野田 遊（同志社大学政策学部教授）
藤平 春加（ビクトリア大学非常勤講師）
八木 匡（同志社大学経済学部教授）
渡辺 好章（同志社大学名誉教授）
Jeff French (Brighton University Business School)
瓜生原葉子（同志社大学商学部教授/センター長）